



和泉商工会議所

地域社会の発展に寄与するための健康経営



専務理事 橋本 隆次氏

専務理事 橋本 隆次 氏
 本社所在地 大阪府和泉市テクノステージ3丁目
 主な事業内容 地域総合経済団体
 従業員数 17名(男性:11名・女性:6名)
 健康経営優良法人2020、2021、2022連続認定

健康経営優良法人
2022 認定

中小規模

和泉市は大阪の都心から約25km、関西国際空港からは約20kmの大阪府南西部に位置し、大阪都心のベッドタウンとして開発が進み、1995年の泉北高速鉄道「和泉中央駅」開業を機に、岸和田和泉インターチェンジの近くに工業団地「テクノステージ和泉」が開発されました。年々各企業の進出が目覚しく、テクノステージ和泉に関しては100を超える企業・工場が集積し市内の活性化が進んでいます。

地域経済発展のために率先垂範で健康経営に取り組みました。

当所は近年発展めざましい和泉市の総合経済団体として地元商工業者の側面的な支援を行って、会員事業所とともに地域の活性化に努めております。そんな当所が健康経営優良法人認定を目指すことになったのは、数年前に日本商工会議所で「健康経営」という言葉を耳にしたことによります。少子高齢化が進む我が国において、今の働き手の健康は個人だけの問題ではなく社会全体の問題であり、企業においてはまさしく経営上の重要課題であることが理解できました。そこで、地域密着の経済団体である当所自身が先頭に立って健康経営に取り組み、会員事業所への普及に努めていくべきであると判断し、2019年6月健康宣言を行い取り組みを始め2020年3月に「健康経営優良法人」に認定を受けました。そして今年3回目の認定を受けております。

健康診断事業を行っているプライドにかけて職員への健康診断は万全に実施しています。

当所は会員事業所の事業主および従業員の健康管理の一環として健康診断事業を行っています。健康診断を推奨している当所が健康診断を疎かにする訳にはまいりません。会員事業所と同じように検診車を手配し、囑託も含めた全職員一斉に健康診断を行いますので受診率は100%を維持できています。さらに、当所では法定検診に加えて腫瘍マーカー、胃カメラ、マンモグラフィ等の付加検診も全額負担して実施しています。診断結果については地域産業保健センターから保健師や医師を派遣してもらい2次検査などの指導を受けております。



会員向け健康経営セミナー



毎朝のラジオ体操

ワークライフバランスの取り組みが最も成果につながりました。

当所にてワークライフバランスの取り組みは最も成果があった施策です。毎週第2、第4水曜日を「ノー残業デー」として周知を行い勤怠システムを取り入れ入退社はPCと連動した機械で管理し時間外労働の削減に努めました。今では繁忙期を除いて「ノー残業デー」以外の日もほぼノー残業となっています。また、有給休暇も1時間単位での取得を可能にしワークライフバランスを促進しています。

感染症対策に万全を期しています。

昨今、力を入れているのが感染症対策です。アルコール、入場者への検温器、アクリル板の設置をしており、全職員に「抗原検査キット」の配布も行っています。また、ワクチン接種による体調不良時も接種日当日および翌日に特別休暇制度を設けました。緊急事態宣言時は職員会議をリモートによるオンラインにて実施しています。

「内」のみならず「外」にも働きかけていきます。

当所の職員は比較的若い職員が多くおります。今後少子高齢化社会を迎えるにあたって若い職員は貴重な存在で、地域経済の発展に永く寄与してもらわないといけません。ただ若い時期は身体に無理が効く分、健康に意識がいかなかりがちです。食生活が乱れたり、運動不足に陥りがちです。若いうちのつけは年を取ってから出てきます。そのため毎朝「ラジオ体操」の実施を始めてました。また、専務理事が率先して毎日1時間のウォーキングを行うなど、運動の習慣化を自ら実施することで推奨しております。地域経済を守る職員が病気になってしまうと大きな損失が発生します。そのことを思えば今多少の費用が掛かっても安いものです。さらに私たちには地域経済団体として健康経営を地元企業に推奨、普及させていく重大な責任があります。今後も「内」のみならず「外」に対しても発信し働きかけて健康経営を重要事業として取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

問合せ先・担当者